

令和6年度 事業報告

1. 令和6年度の当財団の基本財産運用収入は、0.0116%の運用益となりました。

2. 啓発事業

(1) 一般部門

①当財団の主要事業である「とやま環境賞」について、下記の4団体2個人を表彰しました。

「優秀活動賞」

○いみず水辺の愛好会

小学校のビオトープ池を通して子供たちに自然の素晴らしさや命の大切さを伝える環境啓発活動を行い、絶滅危惧種のホクリクサンショウウオや希少種のミナミアカヒレタビラの生育調査や保護活動をするなど環境保全にも取り組んでいる。

○ひみラボ水族館

日本固有種イタセンパラの学術研究や、小中高校生に自然や環境・生物に興味をもってもらうための環境教育に取り組んでいる。

○岩寄勝利さん

富山県地球温暖化防止推進員として「とやま環境チャレンジ10」事業の講師を務め、気象予報士・気象防災アドバイザーとしての知識を活かし地域や学校での講演を通して浸水災害時の適切な対応を伝えるなど啓発活動にも取り組んでいる。

「ジュニア活動賞」

○富山市立宮野小学校5年生

地域の合場川に生息する生き物の飼育や観察を魚津水族館の学芸員とともに学習し、そこで学んだ命の大切さや豊かな水環境の必要性を地域の保育園児に紹介するなど、子どもの感性に働きかける環境学習活動を展開している。

○氷見市立灘浦小学校

地元団体や住民と連携し虻が島の自然観察会や清掃を継続的に行い、貴重な地域の自然を守り愛する心を育むとともに全校児童や保護者・地域の方々に環境を守る大切さを呼びかけている。

○中西瑠焯斗さん

小学1年生の時からカエルの食べ物や体の色・皮膚・骨格・産卵・泳ぎ方などの研究をフィールドワークとし、中学生になった今は、富山湾の深海魚の生態研究へとその分野を広げ、富山のめぐみ豊かな水環境の研究成果を県内外に広く情報発信している。

それぞれの活動の様子は企画ニュースとして、富山テレビ放送「ライブBBT」で放送しました。

②上市町に湧く水が、地域の生活や文化、産業を支えてきた歴史を紹介する番組「穴の谷の霊水と共に」を、15分番組として制作し、令和7年3月23日（土）に富山テレビ放送で放送しました。

③当財団と富山テレビ放送で、「ジオグラフィックとやま」を5分番組として毎週2回、年間を通じて制作・放送し、自然環境の保全を提唱しました。

④当財団と国土交通省立山砂防事務所の主催による第25回「SABO体験楽校」を7月30日（火）～8月1日（木）の2泊3日で実施しました。県下の高校生7名が参加し、立山カルデラでの砂防工事の体験学習をしました。

(2) 情報部門

水や環境情報、団体などが行っている環境活動を富山テレビ放送の協力を得て、ニュースなどで随時紹介しました。

3. 普及事業

(1) 普及広報活動

①国土交通省、富山河川国道事務所、黒部河川事務所、立山砂防事務所、利賀ダム工事事務所と共催で「第36回川の絵画コンクール」を開催しました。県内の小学校から2,043点の応募があり、故郷の川への思いとエピソードが伝えられました。また、優秀作品を取り込んだ「川の絵画カレンダー」を参加者及び県内の小学校に配布しました。

②「親子で学ぶ！夏休み自然体験学習」を、トヨタ白川郷自然学校の協力を得て実施しました。8月17日（土）・18日（日）の2日間、16組32名の親子が「水と森のつながり」をテーマに自然体験学習をしました。この模様は8月23日（金）の「ライブBBT」で放送しました。

③富山県ひとづくり財団、富山テレビ放送との共同主催で「水みらいプロジェクト2024」を実施しました。身近な水生生物や植物の飼育・観察を通じて水環境の大切さを子どもたちが学ぶ活動を助成し、その活動の様相を令和7年3月29日（土）に55分番組として富山テレビ放送で放送しました。

④気象予報士で富山テレビお天気コーナーを担当する木地智美さんによる「気象キャスター木地智美のお天気教室」を実施しました。8月24日（土）に、16組32名の親子が参加し、地球温暖化による気象や環境への影響に関する解説や、雲の成り立ちの実験などを行い、環境について学びました。

（2）催事・研究助成

①射水市絵本文化振興財団に環境教育に役立つ絵本の購入費を助成しました。

②射水市 海・川の森づくり事業に助成しました。

以上